

フェリス女学院

2012 年度事業計画書（概要）



FERRIS
JOGAKUIN

学院基盤の強化等に向けた取り組み

(1) 制度政策に関する事項

1 経営改善計画（第2期）の実施

【計画内容】

2012年度は、財務に関する6つの行動目標を実施し、帰属収支差額比率13%（＝評価5）を達成する。グランドデザインについては、各部からの案をもとに学院全体案を確定する。

【実施年度・期間と実施内容】2011年度～2015年度（終了年度）

実施期間	実施した内容（見通し）				
2011年度 （～2015年度）	第2期経営改善計画を策定した（2011年度第2回理事会承認） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">財務</td> <td>帰属収支差額の安定的な黒字確保に向け行動目標を実施 達成基準：帰属収支差額比率 13%以上＝評価5を達成</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">教育</td> <td>中長期の教育構想をまとめるために検討を開始</td> </tr> </table>	財務	帰属収支差額の安定的な黒字確保に向け行動目標を実施 達成基準：帰属収支差額比率 13%以上＝評価5を達成	教育	中長期の教育構想をまとめるために検討を開始
財務	帰属収支差額の安定的な黒字確保に向け行動目標を実施 達成基準：帰属収支差額比率 13%以上＝評価5を達成				
教育	中長期の教育構想をまとめるために検討を開始				
(当年度)	計画内容 参照				
2013年度	帰属収支差額の安定的な黒字確保に向け行動目標に取り組む <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">財務</td> <td>個別の行動項目を年度ごとに実施する</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">教育</td> <td>グランドデザインを策定し、これに基づき事業計画として実施する</td> </tr> </table>	財務	個別の行動項目を年度ごとに実施する	教育	グランドデザインを策定し、これに基づき事業計画として実施する
財務	個別の行動項目を年度ごとに実施する				
教育	グランドデザインを策定し、これに基づき事業計画として実施する				
2015年度	経営改善計画の総括検証				

★当該事業の最終目標：グランドデザイン策定とこれに基づく事業の実施、財務基盤の確立。

2 山手地区校舎整備計画の検討

【計画内容】

財務・施設委員会で検討を進める。2012年度においては、次の項目についてグランドデザインとの整合性をみきわめ概要を確定する。

【実施年度・期間と実施内容】2011年度～2013年度（計画確定年度）

実施期間	実施した内容（見通し）
2011年度	財務・施設委員会（山手地区校舎整備計画検討委員会）で検討を開始
(当年度)	計画内容 参照
2013年度	山手地区校舎整備計画を学院のグランドデザインとすりあわせながら進める

★当該事業の最終目標：山手地区校舎整備計画の確定。

3 人事及び給与制度の整備と職場環境改善の推進

【計画内容】

人事・給与制度の整備を継続する。2012年度においては、特に次の事項を予定する。

(項目)	(2012年度目標)
◆人事・給与制度の整備	… ・退職金制度の見直し ・給与・賞与ルールの見直し
◆ワークライフバランスの重要性の周知と制度の整備（継続）	… ・男性教職員の育児参加促進 ・介護休暇制度充実化への見直し ・職員：ノー残業デー実施率の向上とその効果の検証
◆教職員の心身両面にわたる健康支援体制の整備（継続）	… ・定期健康診断における検診項目の拡充、職場内メンタルヘルスケア支援制度の整備
◆職員の人材育成制度の整備（継続）	… ・「学院が目差すべき職員像」の明確化 ・人材育成方針の整備 ・上記を受けての研修体系と研修プログラム内容の見直し
◆職員 PDS 制度の運用面の改善（継続）	… ・現行制度の問題点の把握と改善案の検討
◆職員の適正な人員配置計画の策定及び採用計画の整備	… ・外部機関に委託して、事務組織における業務分析を実施 ・職員の適正な業務量の把握による、今後の人員配置・組織体制等の検討 ・職員採用制度の整備

【実施年度・期間と実施内容】2007年度～2015年度（計画確定年度）

実施期間	実施した内容（見通し）
過年度	俸給表切り替えに伴う規程改正、職員研修制度・管理職登用制度の導入 他
(当年度)	計画内容 参照
2013年度以降	法令順守の観点も含め、学院における人事・給与制度、仕組みにおける再整備をひとつとおり完了させる

★当該事業の最終目標：人事・給与制度の再構築。

4 設置校関連（納付金・定員等に関する制度政策）

フェリス女学院中学校・高等学校

【計画内容】校納金（授業料）の増額改定

高等学校、中学校の授業料を月額1000円、年額1万2000円増額し、全学年に適用する。

【実施年度・期間と実施内容】2012年度

実施期間	実施した内容（見通し）
(当年度)	校納金年額 高等学校 51万6000円 → 52万8000円 中学校 50万4000円 → 51万6000円

★当該事業の最終目標：教育環境の整備を行うとともに、第2期工事实施に向けて必要な基本金組入を行うこと。

(2) 財務に関する事項

第2期経営改善計画に基づく2012年度に関する諸事項は次の通り。

1 第2号基本金組入計画

【計画内容】

施設設備引当特定資産（第2号基本金）は、大学、中高とも、計画通りの組入れとする。2012年度は、次の額となる。なお、大学は校舎改修により2億円を取り崩す。

- ◆大学部門：大学キャンパス施設設備拡充整備資金計画 1億5000万円組入
- ◆中学校・高等学校部門：中高校舎等建替第2期工事建築資金 1億円組入

【実施年度・期間と実施内容】 これまでの組入額と、予定額 単位：億円

	～2010年度末残高	2011年度	2012年度	計
大学	6.7	1.5	組入額 1.5 －) 取崩額 2.0 小計 △0.5	7.7
中高	8.7	1.0	1.0	10.7
組入額累計	15.4	17.9	18.4	

★当該事業の最終目標：第2号基本金 2012年度末残高18.4億円を目差す。

2 資金運用計画（第2期）に基づく資金運用

【計画内容】

2012年度は、次を予定する。

- 引当特定資産繰入分 毎年 4億円（内訳は下記）
- 運用追加資金 毎年 1～2億円程度

【実施期間】 第2期 2011～2015年度

★当該事業の最終目標：2015年度段階で運用資産額110億円を目差す。

(3) 施設設備の整備に関する事項

1 主な事業

【計画内容】

- ◆大学 緑園・山手 非常用電源装置の設置
- ◆大学 山手8号館（横浜山手中華学校旧校舎）改修工事

2 維持管理に関する事業（改修・修繕等）

【計画内容】

- 大学 フェリスホール ステージ改修
- 中高 カイパー講堂音響・照明等改修
- 〃 第1・第2グラウンド整備工事

(4) 学院支援体制強化に関する事項

1 維持協力会

【計画内容】

目標金額 3000 万円

【実施年度・期間と実施内容】2012 年度～2013 年度

実施期間	実施した内容（見通し）
(当年度)	上記計画内容を実施する。
2013 年度 以降	①グラウンドデザインに連動した、寄付金を募るテーマおよび目標金額を設定する。 ②目標金額達成に効果的なキャンペーンを検討、実施する。

★当該事業の最終目標：グラウンドデザインの実現に貢献する。

2 教育充実資金その他の募金活動

【計画内容】

2012 年度は、各設置校で施設設備の充実のため、新入生（保護者・保証人）に対し、教育充実資金の寄付依頼を行う。この寄付金は、将来の施設設備拡充のため、第 2 号基本金に組入れる。なお、2012 年度は、第 2 号基本金組入計画に基づく、教育充実資金を組入れる最終年度となるので、2013 年度以降の方針を決定するため、グラウンドデザインを視野に入れて、具体的な検討を進める。

【実施年度・期間と実施内容】

大学 2006 年度～2012 年度 中高 2008 年度～2012 年度（第 2 号基本金組入期間）

実施期間	実施した内容（見通し）
(過年度)	第 2 号基本金組入総額 大学 2006 年度～2011 年度 約 6500 万円 中高 2008 年度～2011 年度 約 1 億 7700 万円
(当年度)	目標金額を達成し、第 2 号基本金に組入れ、将来の施設設備拡充資金とする。
2013 年度 以降	2013 年度以降も新入生に対し、教育充実資金の寄付依頼を行う。

★当該事業の最終目標：施設設備拡充資金として、第 2 号基本金に組入れる。

(5) その他の事項

1 学院 150 年史編纂

【計画内容】

編纂委員会を設置し、2020 年完成を目差して準備を具体的に進める。

【実施期間】 2010 年度～2020 年度

★当該事業の最終目標：2020 年までに以下の事業を完成することにより、本学の 150 年の足跡を明らかにするとともに、それらの記録の公開を目差す。

- ①学院所蔵資料のデータ化及び目録の作成
- ②『フェリス女学院 150 年史 通史編』刊行
- ③『フェリス女学院 150 年史 資料集』刊行

2 学院 HP の見直し検討の開始

【計画内容】

社会への情報発信媒体としての学院 HP のあり方を検討し、2013 年度にリニューアルを完成する。

【実施期間】 2012 年度～2013 年度

★当該事業の最終目標：学院情報発信機能の深化。

3 「学院広報」の見直し

【計画内容】

フェリス関係者間の意識 (all Ferris) 共有を促進し、学院からのメッセージ性を高めるために、編集コンセプトを明確化した紙面刷新を行い、2011 年 12 月発行号以降のリニューアルを目差して準備を具体的に進める。

【実施期間】 2011 年度～2012 年度

★当該事業の最終目標：「学院広報」リニューアルの定着。

4 経理業務のアウトソーシング

【計画内容】

アウトソーシング内容は、主に伝票処理、月末一括支払管理、税務申告資料作成を予定する。その他、寄付金業務のアウトソーシングも視野に入れる。その一方では、科学研究費補助金業務、予算業務、決算業務等に注力する。アウトソーシングの実施により、経費削減に繋げる。

【実施期間】 2012 年度～

★当該事業の最終目標：経費削減、業務の効率化。

5 校歌 CD 制作

【計画内容】

校歌制定 60 余年が経過し、フェリス女学院として中高と大学の保有する音楽資源を活用したオフィシャルな校歌音源を残す。学校法人フェリス女学院の組織の一体感 (all Ferris) を醸成するために、「フェリス女学院校歌」を演奏し、それを収録した CD を 2012 年度創立記念日までに完成させる。

【実施期間】 2011 年度～2012 年度

★当該事業の最終目標：2012 年度創立記念日までに CD を完成させる。

設置校の取り組み

フェリス女学院大学

大学は、「キリスト教の信仰に基づき、女子に高度の教育を授け、真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する自立した女性を社会に送り出す」ことを目的としている。2010年度は3つのポリシー（※）を定め、学内外への徹底を図った。そして、教学面、学生生活面では、学院の教育理念（モットー）である「For Others」を尊重し、小規模大学の利点を生かし、学生一人ひとりの個性を見つめ、才能を引き出し発展させる教育に取り組んでいる。

今年度は、継続中のプロジェクトを推進しつつ、大学グランドデザインを学院との調整の中で確たるものにしてゆく。また、懸案であった音楽学部山手5号館の代替施設の目処も立ち、大学の教育環境を整備し、学生の生活空間をより安全、快適なものへと改善する。

以上のような大学将来構想策定の大きな流れと並行して、今年度大学が取り組む主な事業は、次のとおりである。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

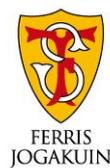
- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 大学・大学院の理念・教育目標に関する取組 | 2 教育内容・教育方法の充実に関する取組 |
| 3 学生生活支援に関する取組 | 4 学生のキャリア形成支援に関する取組 |
| 5 国際交流の推進に関する取組 | 6 教育研究等環境の整備に関する取組 |
| 7 大学の管理・運営に関する取組 | 8 社会貢献に関する取組 |
| 9 施設・設備の整備に関する取組 | 10 大学の広報、情報公表に関する取組 |
| 11 内部質保証の充実に関する取組 | |

フェリス女学院中学校・高等学校

21世紀になって10年が経った今、世界と日本社会を振り返ると、世界の平和はいまだ遠く、また日本社会の閉塞感も一段と深まったように思われる。そうした時代だからこそ、ますます確固たる基盤に立って主体的に生きる人材の育成が学校教育に求められている。そうした中、2012年度も、本校の教育目標である「キリスト教信仰に立って、主体的に生きる女性の育成」の意義と役割も大きくなるとの自覚をもって、「For Others」のもと、教育方針「キリスト教信仰」・「まことの自由」・「学問の尊重」をより確かなものとする教育実践に努めたい。具体的には、進学実績という成果にのみとらわれることなく、将来何を学ぶかという明確な目標を持ち、さらには高い人格を兼ね備え、常に社会に果たすべき自覚と見識を有する人材の育成である。「まことの自由」も「学問の尊重」も、他者との関係の中で、自分自身から解放され、自己よりも他者を優先させることのできるような学識と人格とを目差すものである。その基盤は6年間にわたって育まれるキリスト教信仰にほかならない。その結果、「受け取るもの」から「与えるもの」へ心身ともに成長することこそが本校の目差すところである。

それらの具体化として、2012年度の取り組みは次のとおりである。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 教育基盤であるキリスト教教育の再確認 | 2 新教育課程への対応 |
| 3 グランドデザインに基づく第2期工事への着手 | 4 ホームページの充実などの広報活動の促進 |



学校法人
フェリス女学院

〒231-8660 横浜市中区山手町 178

TEL 045-662-4511(代表)

学院 HP 公開版